

こや でのい 小屋の出入り

くつに病びょう気きをつけて小屋こやに持ちもこまないように、
どろをよく落おとして、消しょう毒どくをする。またはながつ
にはきかえる。



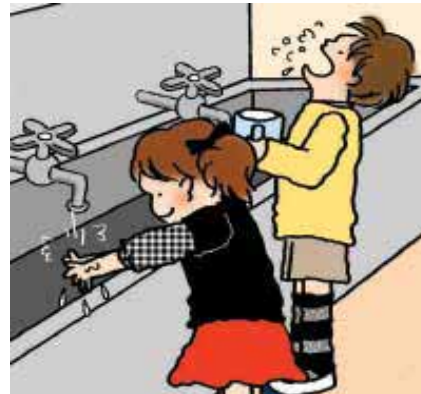
かんさつ よく観察する。

ようすにへんか変化へんかがあったら
せんもんか じゅういし かちくほけん
専門家(獣医師、家畜保健
えいせいじょ そうだん
衛生所)に相談する。

ニワトリ～気をつけて世話しよう～

やちよう ちか 野鳥を近づけない。

やちよう こや なか い
野鳥を小屋の中に入れない。
ニワトリをそと だ外に出さない。
(小屋のなかは、安全です)



せわ あと 世話をした後は

うがいとてあらい手洗い。
ねん 念のためにマスク、てぶくろ手袋
もつける。

朝日小学生新聞 H16年2月11日 イラスト・中村美穂子

鳥が病気にならなければ、人にもうつりません。大事な仲間・ニワトリを病気から守るため、毎日糞や食べ残しなどを片づけて、普段から衛生的に飼いましょう。
野鳥(糞や排泄物を含む)と接触する機会がなければウイルスを持った野鳥が日本に来ても、その野鳥から学校のニワトリに感染し、そこから人に鳥インフルエンザ
が感染する可能性は低いと考えられています。

動物とふれあう時は手洗いやうがいをしっかり行い、動物から人あるいは人から動物へ病気が移らないよう普段から気をつけて世話をし、動物を可愛がりましょう。

< 新潟県獣医師会 >

日本小動物獣医師会

担当:学校飼育動物対策委員会